

先天性代謝異常等検査に係る検査機関の変更について

【検査の経緯】

- 1977（昭和52）年 事業開始。直営。5疾患。
- 1979（昭和54）年 先天性甲状腺機能低下症が追加。栄研化学へ委託
- 1989（平成元）年 先天性副腎過形成症が追加。栄研化学へ委託
- 1993（平成5）年 三重大学へ委託開始。2疾患
（先天性甲状腺機能低下症、先天性副腎過形成症）
- 2013（平成25）年 タンデムマス法（19疾患のうち16疾患実施）
開始。16疾患及び酵素法（ガラクトース血症）
は保健環境研究所
- 2018（平成30）年 CPT-2欠損症追加

【平成30年度現在の検査機関】

- 三重県保健環境研究所
タンデムマス法（17疾患）及び酵素法（ガラクトース血症）
- 三重大学
先天性甲状腺機能低下症、先天性副腎過形成症

【他都道府県及び政令指定都市の状況】

平成30年度現在、47都道府県及び20政令指定都市のうち、直営で検査を行っているのは本県と富山県の2県のみ。

【外部委託に移行する経緯】

検査を直営で行っている自治体は本県及び富山県の2県であること、また、三重県保健環境研究所の検査機器の老朽化及び県の財政事情等により、外部の検査機関に委託。

【平成31年度以降の検査機関等について】

- 検査機関・・・（検査機関名）一般財団法人岐阜県公衆衛生検査センター
（住所）岐阜県岐阜市曙町4丁目6番地
- 契約期間・・・平成31年4月1日～平成34年3月31日（3か年）

【検査機関変更に伴う採血医療機関の手続き変更について】

詳細については検査機関と打ち合わせを行い、決定予定。

(ろ紙等の配布)

平成31年3月・・・ろ紙、先天性代謝異常等検査申込書及び送付用封筒は検査機関から配布。

(検体の送付先)

保健環境研究所等の検査は平成31年3月29日(金)に終了。

検体の送付日及び送付先

- 保健環境研究所への送付最終日・・・平成31年3月22日(金)
- 新たな検査機関への送付開始日・・・平成31年3月23日(土)

【今後採血医療機関への周知】